

# インフルエンザによる学級閉鎖がない！

## — 中国の秘密



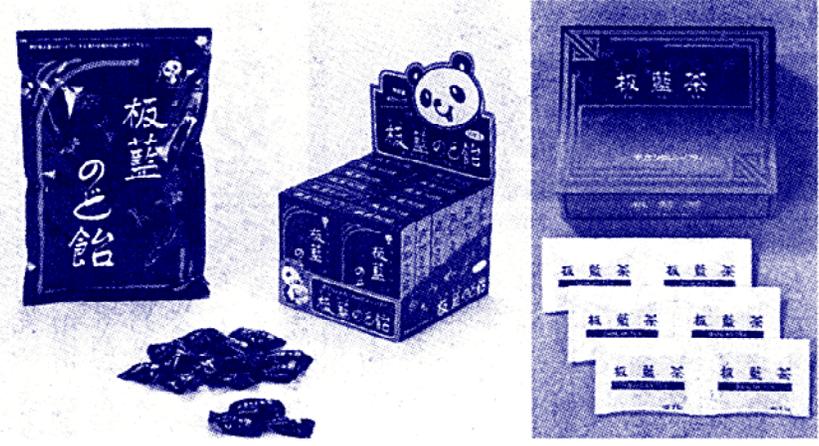
家庭や学校では、風邪が流行しそうな時期、板藍根を煎じたお茶を飲んだり、うがいや手洗いにも使うのが常識という。甘みを加えてチョコレートや飴にするという使い方もあるようだ。家庭常備品の筆頭にある生薬が板藍根なのだ。

四季の変化を愛でる風習 冬に戻るなど寒暖差が激し  
 をもつ日本であっても、1月の特微で、健康管理が  
 月から2月の厳しい寒さは、このほか難しい。インフ  
 だけでなく、インフルエンザの対策、お考えだ  
 インザが猛威を振るうのも、  
 大体がこの時期だ。しかも、  
 今年の冬は、春を思わせる 国では、風邪が流行するこ  
 陽気が続いた後、一気に真 とはあっても学級閉鎖にな  
 ることはいらない。毎年  
 のように学級閉鎖が相次ぎ、  
 中にはインフルエンザで亡  
 くなる人も出る日本では信  
 じられないことだ。その秘  
 ところで、お隣の国、中  
 密が、漢方の抗生物質とも  
 称される「板藍根」はなら  
 んこん”にある。中国の

# .....こんなときには板藍根.....



## パンダ根VSエキナセア あなたはどっち？ 私は両方。。。。



上記商品に関する問い合わせは、パンダマークの薬局・薬店または日本中医薬研究会消費者相談窓口（☎03・3273・8891）へ

ス作用、解熱作用、解毒作用、そのエキスを抽出して顆  
 用に優れた生薬で、おまけ 粒状にしたものは手軽に飲  
 に副作用も少ない。 用でき、しかも効きが早い  
 症状の改善に向け総合的 ということで、インフルエ  
 な作用があるため、予防に ンザ対策には心強い味方と  
 はもちろん、治療にも抜群 なっている。最近では日本  
 の効力を発揮する。中国の でも安価なお茶タイプのも  
 漢方医たちの間では、ウイ のが手軽に入手できるよう  
 ルス性肝炎や耳下腺炎（お になった。  
 たぶく風邪）、扁桃腺炎、 板藍根の飲用が一般的に  
 帯状疱疹の治療用など幅広 なれば、日本からも学級閉  
 く使われている。 鎖はなくなるに違いない。



ホソバタイセイの根「板藍根」

板藍根はラプラナ科の植  
 物・菘藍（ソウバタイセイ）  
 の根。抗菌作用と抗ウイル